

「Pythonスクリプトの実行」課題でPythonトレースバックとエラースタックを表示する方法

内容

[概要](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

概要

このドキュメントでは、「Pythonスタックの実行」アクティビティでPythonトレースバックとエラースタックを表示する方法について説明します。

問題

「Execute Python Script」ブロックを使用しようとするとうまく失敗します。実際の問題のトラブルシューティングに役立たない「Value cannot be null」エラーが表示されます。

解決方法

GUIにエラーを返すには、Pythonのトレースバックライブラリを利用する必要があります。問題があると思われるコードの周りのブロックを除いて、試してみて、`traceback.print_exc`関数を使用する必要があります。

この例では、Cryptoライブラリがインストールされていない場合にインポートを試すことができます。通常、コードは次のようになります。

```
from Crypto.Hash import SHA256
```

失敗した場合は、次のコードを使用して実際のエラーを取得できます。

```
import sys,traceback
try:
    from Crypto.Hash import SHA256
except:
    traceback.print_exc(file=sys.stdout)
```

これは、Cisco Process Orchestrator(CPO)に表示される出力のタイプです。



Execute Python Script (3) Properties



General

Execute Python Script

Results

Run Options

Knowledge Base

Result:

```
Traceback (most recent call last):  
  File "<string>", line 3, in <module>  
ImportError: No module named Crypto.Hash
```



Help

OK

Close